



# KIFA Plaza

鎌ヶ谷市国際交流協会広報誌

## 第70号

2011年(平成23年)1月14日  
 発行：鎌ヶ谷市国際交流協会  
 〒273-0195 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-6-1  
 TEL 047-445-1141 (内550)  
 FAX 047-441-9400  
<http://www.kifa.gr.jp>

## なごやかに「和の文化交流の輪」

### KIFAPARTY2010

鎌ヶ谷市国際交流協会(KIFA)の最大行事「KIFAPARTY2010」が12月12日(日)、市総合福祉保健センター6階大会議室で開かれました。岡本靖子副会長の開宴宣言に続いて、茂野昭会長から「今年は和を基調にしたパーティにしたいとして、準備を進めてきました。パーティに参加された外国人にとって住みよい町になるきっかけとなればうれしいです。それぞれ交流を深めていただきたい」と歓迎のあいさつがありました。

所用があつて、パーティの途中に駆けつけていただいた清水聖土市長から「ノーベル化学賞の根岸英一教授、鈴木章教授が、日本の若者はもっと海外に出て行くべきだと言っています。私もそう思います。いま日本は内向き指向になっている、いろんな人と交流することで、内向き指向から脱皮する機会にもなるだろう」と、KIFA活動への評価と期待の祝辞があり、会場は改めて一段と盛り上がりました。

#### ●テーマは「日本文化紹介」

パーティのオープニングは、川西八郎教育長はじめ来賓の方々、お招きした東葛地区国際交流協会(柏市、我孫子市)の代表者の方々が紹介されたあと、鎌ヶ谷市議会・土屋裕彦副議長が乾杯のあいさつに、全員が「カンパニー」。参加市民、会員、カナダ、ニュージーランド、ペルー、バングラディッシュ、ドイツ、フィリピン、アメリカ、スペイン、中国、韓国、香港、ガーナなど13カ国の外国人を含む200人を超す笑顔が、会場いっぱいにあふれています。野村千賀さん、小河原大蔵さんの総司会でパーティが進行します。

まず目を引くのはステージです。松を描かれた大扇子と、太い3本の青竹を斜めに切った二つの飾りものが、テーマの象徴として配置されています。

ステージではアトラクションが始まりました。ハッピー姿の法典鼓涛のみなさんによる和太鼓演技です。次に日本舞踊が、民俗芸能文化連盟の中村正恵さんによって披露されました。さらにスマイリーキッズ(子ども英会話



茂野昭会長



清水聖土市長



土屋裕彦副議長



「不思議だなー」と手品に喜ぶ子どもたち

教室)の子らと、教室のシナピ先生とクリス先生も登場して、カーペンターズの歌「Sing」を歌いました。

会場ブースの折り紙遊びのコーナーには、色紙が用意され、鶴などの折り紙が作られています。子どもたちや外国人たちが、杵名輝政さんの指導で挑戦しています。そして会場全体の「和を演出」したのも折り鶴でした。舞台をはじめ、各テーブルに添えられた数百の折り鶴が彩りを添えています。

#### ●子どもたちは、面白手品に大喜び

書道体験用テーブルもあります。協会のボランティア村田源吉さんの手ほどきで、「お習字」の時間を過ごす人たちもいます。隣のキッズコーナーでは、「子どもの目線から見た日本」が写真で展示されています。スマイリーキッズの子どもたちが作った折り紙にキャンデーを添えて、かわいい親善大使たちが会場をまわり、外国人にあいさつしてプレゼントしました。子ども用の甲冑も展示されて、外国人が兜を試着するなど人気を集めていました。

ロビーでは例年のように、鎌ヶ谷市茶道協会の「お茶席」が設けられています。和装の茶道協会の方々による茶菓の接待を楽しむ外国人もいます。

このほか会場で人気を博したのは「子ども手品あそび」です。山賀正六さんの絶妙な手さばきで、あや取りなどの手遊びや面白手品が、次から次に繰り広げられます。子どもたちは「えっっ、どうして」と夢中です。子どもたちの歓声が続いていました。<2面に続く>

< 1面KIFAパーティの続き >

## ●今年もビュフェ方式による会食です

パーティのもう一つの楽しみは食べ物です。

昨年までのテーブル会食と趣向を変えて、今年も立食ビュフェ方式による会食です。会場のお料理コーナーには、おでん、水餃子、けんちん汁、やきそば、たこ焼き、焼き鳥、サンドイッチ、おいなり、フルーツなど。好みの食べ物を取り分け、談笑の輪が広がっています。子どもたちに一番の人気コーナーは焼き鳥でした。大人も子どもにも大人気はたこ焼きと焼きそばでした。

お料理を供したのは、今年で5年目になる「味・匠の会」です。帝国ホテルのシェフだった高橋秀夫さん指南による男性だけのメンバーが、白いコック帽とシェフ服スタイルでテーブルに着いて、立食パーティの雰囲気盛り上げてくれました。

パーティのフィナーレは「ビンゴゲーム」です。フィリピン出身の小山田ジェンマさんが、英語で数字を読み上げるたびに「リーチ」「ビンゴだ」と会場は大興奮。用意した景品がなくなったところで、パーティも終了しました。皆さんありがとう。



### KIFA日本語講座特別学習

#### ニコリ「福笑い」に挑戦

9月8日に再スタートし、前期12回の授業を終えたKIFA日本語講座。特別学習会として、12月8日には午後8時から、受講生同士の親睦を深めるパーティが開かれました(写真右)。中国、スリランカ、ロシア、アメリカからの受講生8人。まずは出身国、名前、仕事、来日歴などを自己紹介、自国の言葉で「カンパニー」を披露してくれました。つぎに日本伝統の正月の遊び「福笑い」を楽しみました。目、鼻、眉、口など日本語で顔のパーツを覚えつつ、初めての挑戦に大はしゃぎです。目隠しをとり、自分の「傑作」を見てニコリ、ビククリ(同左)。

そして、日本語で「新年おめでとうございます」を習いました。なお、後期は1月5日(水)から、中央公民館(19:20~20:50)で開講しています。

## KIFA 講演会

### 小山内美江子さん

## 「愛を育てる」金八先生から世界へ

「コラー」の叱声には大人の知恵と愛が込められている——。<愛を育てる>金八先生から世界へ——テレビドラマ「3年B組・金八先生」の生みの親・小山内美江子さんのKIFA講演会(研修部会担当)が10月31日(日)、東部学習センターのレインボーホールで開かれました。

小山内さんは、日本中の受験生の家庭、教育現場にさまざまな課題を提供した「3年B組・金八先生」を始め、NHKの大河ドラマ「翔ぶが如く」「徳川家康」、朝の連続ドラマ「マア姉ちゃん」など多数のシナリオ作品を書いてきました。いまはカンボジア難民救援の拠点NPO法人「JHP・学校をつくる会」を設立、海外援助協力活動を行っています。



### 「金八先生」から国際ボランティアへ

講演会では、「金八先生」を書く契機になった熱海での中学生の息子との生活から始まりました。

「今日は車椅子、杖という格好で皆さんの前に来たが、実は膝の手術をしたばかりで、次にお目にかかるときは、スキップを踏んで参りたい(笑)。私は熱海の国際交流協会の会長もやっています」と前置きして、小山内さんご自身のことを紹介してくれました。

「金八先生」は当時、中学生だった息子と友だちとの付き合いが、背景となっているとのこと。彼らの会話を聞



講演中の小山内さん

いているうちに、教育現場にはさまざまな困難な問題があることを知った。子育てと母の介護が終わった頃、カンボジアのポルポトによる大量虐殺。アフガン侵攻。イラン・イラク戦争と、世界は大変な時代になっていた。

### 難民キャンプに学校建設

紛争で追われた難民キャンプを訪れ、悲惨な状況を目の当たりにして、私にも何か出来ることはないだろうかと考え、キャンプと一緒に体験した学生らと「出来ることからはじめよう！」と、NPO法人「JHP・学校をつくる会」を立ち上げて、大学生たち、そして卒業した青年たちと救援活動を続けている。校舎の建設とともに教員の育成、音楽、美術、衛生などの教育支援も行っている。もし皆さんの家に、使わなくなった楽器があったら寄付してほしい、と講演を結んだ。

そして最後にサプライズなシーンに、聴講者たちから感動の拍手が沸きました。

カンボジアと一緒に学校建設に汗を流したメンバーの一人、くぬぎ山在住の根本晴美さんが、最前列の席で講演を聞いていたことを、小山内さんが紹介されました。根本さんは、KIFAのホームページで講演のことを知りぜひ、小山内先生に両親を紹介したいと同伴で、会場に来ていたということです。

(講演内容の要旨はKIFAホームページをご覧ください)

KIFA  
交流バスツアー

# 初秋の箱根路・大涌谷・芦ノ湖をゆく

恒例のKIFAバスツアーが9月26日の日曜日、箱根路と芦ノ湖をめぐり、初秋の一日を楽しみました。市民参加の家族、在住外国人ら参加者71人は、バス2台に分乗し7時30分の定刻、秋空のなか箱根へ。

外国人は中国、韓国、インド、スリランカ、バングラデシュ、フィリピンなどの国と地域からの人たちです。また市内在住の中国残留邦人の方も参加しています。

茂野昭会長がマイクを握り、「このバスツアーは初参加でございます。外国の方で箱根へ行った方はおられますか？ 今日皆さまと一緒に、無事に楽しい一日になればいいなと思います」とあいさつがありました。続いて、外国人参加者の自己紹介。名前・出身地・趣味など習った日本語で立派なあいさつをする外国人もいます。



写真上は、大涌谷で2号車の皆さん、芦の湖畔で1号車の皆さん。  
下は、黒卵のお買い物、芦ノ湖畔、湖畔のレストラン、それぞれお楽しみのスナップです。



## ◎芦ノ湖畔レストランで昼食

バスは順調に東名高速を走り抜け、もうすぐ大涌谷到着です。車中から大涌谷の火山の白い噴煙が遠くに見えています。ところが、この日は日曜日。駐車場へ近づくにつれマイカーの渋滞がすごいこと、大涌谷駐車場に入れたのは予定より30分遅れ。

少ない自由時間ながら、「温泉卵小屋」まで行った人もいましたが、売店付近を散策、黒卵を買って食べながら、展望台からの大涌谷噴煙を眺望、グループや仲間同士で箱根の自然を楽しみました。

大涌谷を後にして第二の目的地芦ノ湖へ。「旧東海道」

## ◎見事な寄木細工、車内交流タイム

帰りの行程に入り、まず畑宿寄木会館見学です。職人さんの実演の鮮やかさに感心するばかりです。日本の伝統工芸に魅せられて、小作品をお土産に求める外国人の方もいました。

帰路の車内は交流タイムです。1号車では「中国語講座」。2号車では海外経験豊かな担当者のお酒とクルマの事情。言葉とお酒で国の違いを知ることも、国際交流バスツアーの醍醐味ですね。恒例のゲーム大会で盛り上がり、それぞれに景品が行き届き興奮のなか、バスは無事、鎌ヶ谷市役所に午後7時に到着しました。



## 第2回「英会話サロン」アフリカ・ガーナの話など

外国人のゲストと英語圏の生活や文化について、生の英語で楽しく語り合う「英会話サロン」。2010年度の第2回目の集いが10月17日（日）、まなびいプラザで開かれました。

今回の3人のゲストとテーマは、  
Mr.Derek Smith (Canada)=Quality Time With Your Spouse (写真左)

Ms.Kathryn Bohan (USA) =The Move to Japan (同中)  
Mr.Chris Ayesu (Ghana) =Ghanaian Culture (同右) でした。

デレック・スミスさん「配偶者と良質な時間を過そう」。キャサリン・ボアンさん「日本へ来たこと」。クリス・アイエスさん「ガーナの文化」など、講師を囲みお茶とお菓子で会話を楽しみました。

## \*外国家庭料理講習会

今回はスペイン料理とパーティです。

講師はかつてKIFAでスペイン語講座を担当されたクリスティーナさんです。それにスペイン滞在8年の信夫稔・信子さんご夫妻が協力します。

日時：2月13日(日) 会場：東初富公民館

募集：調理実習・パーティ参加24人 パーティのみ21人

参加費：会員・1000円 非会員・1500円

参加申し込み締め切り：2月1日

## \*外国語や異文化に親しむサロン

「外国語で覚えてほしい一言」や「覚えておきたい国による文化の違い」を数カ国のゲストスピーカーによる

話をテーマにお茶を飲みながら楽しく語り合います。

日時：2月20日(日) 会場：南部公民館2階集会所

参加費：会員・300円 非会員・400円

参加申し込み：30人(先着順)

\*参加申し込み：KIFA事務局

TEL=445-1141(内550)

Mail=kifa-event@siren.ocn.ne.jp

## \*語学研修講座閉講式

日時：2月6日(日) 13:50~

会場：東部学習センター レインボーホール

## \*子ども英会話閉講式

日時：2月19日(土) 10:30~12:00

会場：中央公民館

## スマイリーキッズ ハロウィンを楽しむ

朝から仮装した子どもたちが、教室へ続々と現れました。保護者のお手伝いで教室の飾り付けも進み、いつもの教室があっという間に、ハロウィンの雰囲気で大変身しました。さらに保護者からのサプライズで、ハロウィン絵柄のフェイスペインティングも行われ、子どもたちは、顔にワンポイントのペインティングをしてもらい大興奮でした。

Aクラスでは、シナピ講師もカウガールに仮装し登場します。レッスン中のゲームでは、「フルーツバスケット」のハロウィンバージョンで盛り上がりました。

続くB、Cクラスでは、野球選手に仮装したクリスマス講師が登場します。こちらもハロウィン版のゲームで盛り上がりました。

各クラスとも後半は、楽しみにしていたお菓子タイムです。「Trick or Treat!」「Happy Halloween!」とやり取りを交わしてお菓子をもらい大満足の日となりました。



楽しそうな子どもたち

スマイリーキッズ(子ども英会話)は10月30日(土)ハロウィンを楽しみました。

## ♪追いついた彼の山、夢は今もめぐりて

.....  
.....

## 忘れがたき故郷♪

しばらく中断していた「交流カフェ」が、11月14日(日)

に再開されました。桃井まりさんの歌唱指導で、童謡「故郷」を外国人の方々(中国、韓国、バングラデシュ)と共に歌い、歌詞を通して日本語の美しい響きを学びました。

まりさんが一節ずつ言葉の意味を判りやすく説明し、

全員で「故郷」を歌う



## 交流カフェ 故郷を歌い再開

石関博康さん(交流部会長)のシンセサイザーに合わせて歌い、日本語の歌をしっかりと覚えてもらいました。外国語をメロディーに乗せて

身に付けるのは、私たちが経験していることです。

まりさんの「ふるさと」の意味の説明で、外国出身の皆さんはきっと、生まれ育った土地の風景や父母、友だちの顔を思い浮かべたことでしょう。

この他、今後の「交流カフェ」の進め方について話し合いました。①夏のキャンプ②カラオケ③バーベキューパーティ④着物、着付けなど希望が出されました。

次回は1月9日(日)、中央公民館で開催します。

## 編集後記

協会の広報誌KIFaplazaは年間4回発行します。そのうち2回は自治会の回覧を通じて、市民にも閲覧していただいています。今号は協会の最大イベント「KIFAパーティ」を中心に、市民と在住外国人の交流バスツアー。小山内美江子さん講演会(〈愛を育てる〉金八先生から世界へ)では、シナリオ執筆の裏話やカンボジア難民キャンプにおけるボランティア体験を紹介しました。その他、外国人らが集

う「交流カフェ」、英会話を楽しむ「英会話サロン」、子ども英会話教室の「ハロウィン」など、市民の皆さんにKIFA活動の一端をお伝えしました。詳細は写真を中心にホームページでも紹介していますので、ご覧ください(<http://www.kifa.gr.jp/>)。

紙面記事を読んでいただき、参加して下さった皆さんが本当に喜び、それを支えたボランティアの活動を想像していただければ幸いです。—— (K.K)